

医政メモQ&A

『薬価設定方式の見直しに関して』

Q：この度も大幅な薬価の引き下げが行われましたが、これから薬価基準制度はどのようになるのでしょうか。

A：最近、薬害エイズ問題や大手チェーン調剤薬局の不正問題が露呈し、医薬品使用の適正化が叫ばれるようになってきたことから、厚生省は薬価設定方式を見直すために4月16日、岡光保険局長を本部長とする「薬価差問題プロジェクトチーム」をスタートさせました。

薬価差問題に関するこれまでの流れとしては昨年8月、医療保険審議会の「中間とりまとめ」において、わが国の国民医療費に占める薬剤費の割合は比較的高いこと、薬剤の使用量に地域格差があることなどから、薬剤が有効かつ適切に使用されるよう患者負担のあり方などについても検討する必要がある、という報告がなされました。

また昨年11月の中医協・診療報酬基本問題小委員会の報告書においても、国民医療費における薬剤比率はここ10年間は30%前後を推移しており、全般的に見れば諸外国と比較して薬剤比率及び一人当たり薬剤費ともかなり高いと結論づけております。その適性化方策として薬価基準の見直し、包括化の拡大、医薬分業の推進などの方向を打ち出しております。

これら二つの報告書を見るだけでも今回、厚生省が薬価差問題を打ち出してきたことは、決して唐突なことではなく、かなり以前前から着々と準備してきたことは間違いありません。社会的入院とともに、医療費の自然増の一端を担っている薬剤費を厚生省は何とか圧縮させたいというのが本音です。

Q：薬価差問題プロジェクトチームはどのような検討を考えているのでしょうか。

A：現在明らかにしている主な検討項目は、

薬価差調査方式の見直しともう一つは、購入方式の透明化及び薬価差解消方策についての2点に絞って検討することになっています。

具体的には保険医療機関に対して卸からの買取り価格提出の義務化、保険者の一括購入、メーカーの蔵出し価額や卸のマージン等の公定化、医薬分業の100%実施など薬価差を解消する方策の検討が主なものです。

そして6月中にも中間報告としてまとめ、これを中医協で諮った上で、できれば平成9年度の薬価改定に反映させたい考えのようです。

また、中医協は去る4月24日、会員懇談会を開き、診療報酬基本問題小委員会の審議のすすめ方を決めました。その検討すべき重点5項目の中に、一般名収載を含む新たな薬価設定方式の導入や薬価差解消策など今後の薬価制度のあり方を挙げております。

そこでは価額設定は長期収載医薬品を対象とし、薬剤費抑制の観点から収載後、一定期間を経た医薬品は一般名で収載し、価額の一本化を図ることが狙いのようです。

Q：それに対し日医を始め診療側は、どのように考えておりますか。

A：本来、薬価差は国の予算の都合で診療報酬が十分引き上げることができなかつたため、いわゆる潜在技術科として容認されてきた部分であり、将来は徐々に初診料や再診料など技術科へ転嫁する約束になっております。それが十分達成されていないにも拘わらず、薬害エイズ問題を理由に薬価差を復古にしようとする厚生省の考えは到底容認することはできません。

日医の糸氏副会長は去る4月16日の記者会見で、厚生省が薬価差問題プロジェクト

チームの設置を決めたことに対し、「薬害問題は厚生省がしっかりしていなかったことに問題がある。それを薬価差に問題があるとか、医療機関が薬をたくさん使うからいけないとかいうのは論点のすり替えだ」と述べ、徹底的に反発していく意向を示しております。

この度の薬価差問題について、厚生省は薬価基準の廃止を含めた制度の抜本的な改革もあり得ることを示唆しております。同時に医薬品使用の適正化対策の一環として、

薬剤に対する患者のコストの喚起を促すために薬剤一部負担の導入をも意図しております。

このことは、単なる薬価基準制度の改正にとどまらず、2年後に予定されている医療保険制度の改革へ向けて一歩踏み出したことでもあります。これに対し日医は、阻止へ向けて徹底した理論武装と強力な態度で臨むべきであると考えます。

(医政部担当理事 赤倉 昌巳)

平成8年度 札医医学研究活動助成金 申請の受付について

札医学術部では会員の学術研究奨励のため、研究助成金を交付しております。

本年度も医学研究に精励され、業績をあげておられる会員の方は、6月25日までに所定の用紙にて申請下さいますようご案内いたします。

研究助成金の交付は学術委員会が審査し、理事会の決定により、8月上旬に交付する予

定です。

なお、助成金の交付を受けられた方は、毎年2月開催の『札医医学会』での発表及び『札医医学会誌』への投稿をお願いすることになりますので予めご了承下さい。

ご不明な点がございましたら、札医業務二課 (TEL611-4181) 大場までお問い合わせ願います。